

# 日本医療社会福祉学会発行 新刊書籍のご案内

## 災害ソーシャルワークの確立 I

### 災害ソーシャルワークの確立 I

スーパーアキュート・アキュート・ロングタームにおける支援の経験から

～日本医療社会福祉学会 2012. 03. 03 セミナー報告～

巻頭言 「災害ソーシャルワークの確立 I」の刊行にあたって

はじめに

第1章 スーパーアキュートにおけるソーシャルワーク  
東日本大震災 「安否確認情報提供支援」

第2章 アキュートにおけるソーシャルワーク  
東日本大震災 「後方搬送支援」  
阪神・淡路大震災「避難所における支援」

第3章 ロングタームにおけるソーシャルワーク  
阪神・淡路大震災 「仮設住宅における支援」

第4章 東日本大震災における活動の中で  
災害時のソーシャルワーカーに期待したこと

A5版74頁

500円

日本医療社会福祉学会

# 災害ソーシャルワークの確立 I

## ◆発行の経緯

当学会では、2012年3月3日に「災害ソーシャルワークの確立 I～石巻赤十字病院医療ソーシャルワーカーの活動を踏まえて～」というタイトルで、シンポジウムとグループワークのセミナーを行いました。

セミナーにおいては、シンポジウムにおいて東日本大震災および阪神・淡路大震災の時に医療ソーシャルワーカーの専門性がどのように活かされたのかという報告がされ、グループワークでは事例をもとにさまざまな検討がされました。特に現地のソーシャルワーカーが、より専門性を発揮できる環境をどのようにバックアップできるかということを考えさせられました。

私たちは学会として、阪神・淡路大震災および東日本大震災で実践されたソーシャルワークを検証し、「災害ソーシャルワーク」の確立をめざし、今後もおこるであろう災害時に医療ソーシャルワーカーがどう行動すべきかということをもとめる必要性を感じ、本書をセミナーの内容を再構成し、時間と共に変化するニーズをどうとらえ、援助を展開していくかということについてスーパーアキュート（超急性期）、アキュート（急性期）、ロングタームという切り口からまとめました。

本冊子の事例は阪神・淡路大震災の事例も含めて、災害という緊急事態に医療ソーシャルワーカーがその立場から専門性を発揮し、重要な役割を遂行できた証左として永久保存すべきである。これらは、今後に向けた新たな指針を示す貴重な実績であり、この記録から色々な課題を抽出するとともに多くのものを学びとっていただきたい。

岡本民夫会長 巻頭言から（抜粋）

◆A5版 全74頁

◆目次

巻頭言「災害ソーシャルワークの確立Ⅰ」の刊行にあたって  
日本医療社会福祉学会 会長 岡本 民夫

はじめに

スーパーアキュートにおけるソーシャルワーク  
東日本大震災 「安否確認情報提供支援」

第2章 アキュートにおけるソーシャルワーク  
Ⅰ 東日本大震災 「後方搬送支援」  
Ⅱ 阪神・淡路大震災 「避難所における支援」

第3章 ロングタームにおけるソーシャルワーク  
阪神・淡路大震災 「仮設住宅における支援」

第4章 シンポジウムから  
東北大震災における活動の中で災害時の  
ソーシャルワーカーに期待したこと

◆執筆者 一覧

第1章 ■セミナーシンポジウム講師(講演内容、スライド提供)  
八島 浩 伊藤 茂樹 石巻赤十字病院

第2章 武田 加代子 天理大学  
■セミナーシンポジウム講師(講演内容、スライド提供)  
八島 浩 伊藤 茂樹 石巻赤十字病院

第3章 武田 加代子 天理大学  
山本 みどり 西陣病院

第4章 ■セミナーシンポジウム講師 (講演からの抜粋)  
小野沢 滋 亀田総合病院

編者 相原 和子 国際医療福祉大学  
笹岡 眞弓 文京学院大学  
新村 郁子 榊原記念病院